

VOICE

夢
浪漫
感動

POWER PEOPLE



2006年度 各委員会 報告 1P~2P

2007年度 理事長所信、各委員長 基本方針 3P~4P

2007年度 会員紹介 5P~6P

例 会 委 員 會

今年度の例会委員会では、毎年重視されている出席率の向上を目的とせず、メンバーの皆様に「チョットでも得をしてもらえるアワー作り」を目的に1年間委員会活動を行いました。

まずは、メンバーの皆様が例会でどのような内容を希望しているかアンケートを行い、この内容と例会メンバーがやりたい事を基に、メンバーに担当月を決めることで、例会メンバー9名の個性を活かし、年間を通してチョットでも得をしてもらえる企画を心掛けながら実践しました。

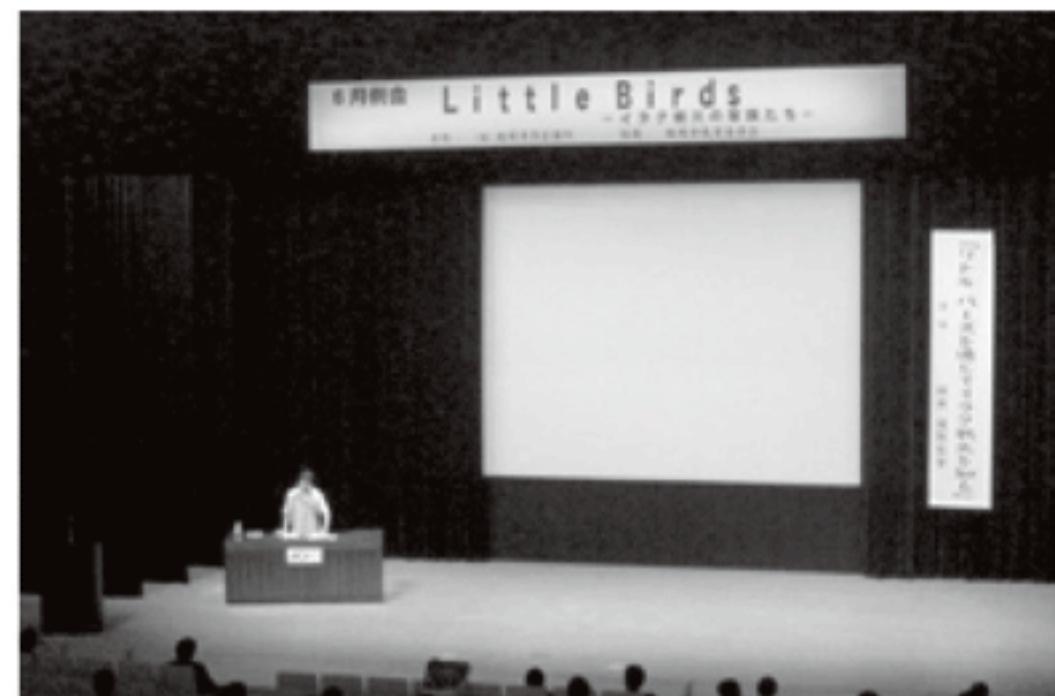
始めに、委員長である私が1月から6月までアンケートを基に例会を担当いたしました後は「例会に対する思い入れ」「期日までにメンバーに対して有意義な事業を作り上げなければいけない構成能力と責任感」そして「理事会に出席し理事会運営の経験と発言能力の向上」これらを目的に、7月からは例会メンバーに担当してもらいました。この目的を熟知し乗り切った担当メンバーが構成した例会と、アンケートを基に構成した例会はメンバーの皆様にとって満足いく例会になったのだと思います。

また、例年12月には例会を開催していませんでしたが、今年度は定款に基づき例会を開催することにいたしました。この12月例会を開催する上で忘年会の後に例会を開催することは適切ではないと判断して、例年行われている忘年会の式典の部を、例会で担当することにいたしました。今回、この式典の部を担当してみてなぜ毎年12月に例会を行わなかったかという理由が私なりに理解することが出来ました。月一度開催し全メンバーが集う例会の目的は、メンバー間の交流及び意思の疎通を図ることと、各メンバーの活動報告が出来る場だと思います。このことを踏まえて考えれば、忘年会の式典の部で行っている在籍10年・15年・20年・100%出席表彰、出向者報告、福岡ブロックアカデミー卒業証書授与を行うことは、まさに例会の基本となる形だったからではないかと思います。

次に、前例会委員長であった坂口監事が「みんなの例会」であると昨年、全メンバーに意識付けを行ってくださったこともあり、31年間で初めて1月から11月までの平均出席率が70%を超える事が出来、これもメンバーの皆様のご協力があってこそだと思い感謝しております。

最後に、私自身の見解となります。例会ほどメンバー同士が一つになりやすい委員会はないと思います。上記にも述べたとおり、メンバー一人ひとりに例会を担当してもらい、同じ立場に身を置くことで互いの気持ちが分かり助け合うことが出来るからです。この1年間で私たち委員会は、理事長所信である「絆」出会いに感謝を心から感じ取れることができたと確信しています。また、例会委員会の委員長という貴重な経験をさせて頂きました林田理事長・室井専務、この1年間励ましのお言葉やご協力を頂いた理事メンバーの皆様、親身になってご協力頂いた田中室長、そして、私と共に最後まで遊んで頂いた森副委員長はじめ山室君・今井さん・岡村さん・大村さん・下川さん・江口さん、宗高君の例会メンバーの皆様、本当に感謝しています。ありがとうございました。この絆を大切にし、今後の（社）飯塚青年会議所の発展のため微力ながら尽くしていくことをお約束して所感とさせて頂きます。

例会委員会 委員長 多 田 勉



國際交流委員會

本年度、国際交流委員会委員長を拝命し、異文化交流・国際貢献、台東JC訪問の2つの大きなテーマをやらせて頂きました。

まず台東JC訪問ですが、2泊3日総勢10名で台東に訪問した訳ですが、言葉も文化も違う私たちにこんなにもと思うほど盛大、かつ心のこもったおもてなしをして頂きました。これまでの交流から一步踏み込んだ「絆」が築けたと思います。

もうひとつは異文化交流・国際貢献ですが、KIZUNA THE WORLD、歴史に見る世界と日本の絆事業を行い、現在、過去、未来の世界情勢や外国人とのコミュニケーションなどを勉強した内容でした。今後、皆さんは青年経済人として、地域のリーダーを目指すものとしてワールドワイドな視点で物事を見なければなりませんと思いますが、こういった事業がきっかけになったのではないかと思います。

そして、この筑豊でも、国際交流というのは以前よりももっと重要になってきていると思います。J Cとして、Jayceeとして継続することに意義があると感じた1年でした。そして1年間これらの事業を行う上で、同じ思いを共有できた谷口副委員長や委員会メンバーにはいろいろ迷惑かけたと思います。とても感謝しています。1年間ありがとう。これからもよろしく！

國際交流委員會 委員長 薦 田 豊 彦



会員交流委員会

委員会が本格スタートする3ヶ月前から新年会の準備が始まり、最後に大忘年会、事業報告と、1年間フル活動の委員会でした。思い起こせば、何から手を付けていけばよいか分からず、とにかく出来ることからはじめようと、委員会メンバーで何度も夜遅くまで議論し、来賓及びシニアに対して失礼がないか、喜んでいただけるだろうかと細かい部分まで気を配り何とかやり遂げた新年会。前日から徹夜のメンバーが多く、がんばつてやり遂げた達成感を味わいました。

創立記念では、「嘉麻の里ものがたり」と題して、嘉麻の里という言葉はどこから出てきたのか、及び現在までの青年会議所と嘉麻の里のダイジェストを、卒業された先輩方をビデオ取材し、映像ストーリーを公開しました。実際に作り上げていくうちに、嘉麻の里のネーミングの由来から、「嘉麻の里はひとつ」を合言葉で活動してこられた内容に感銘を受け、私たち自身が大変勉強になりました。映像を公開したあとに、シニアの方々から、「自分たちの活動の軌跡と引き継がれてきた気持ちを良くあらわしてくれた」とたくさんのお言葉をいただきました。大変な作業でしたが、楽しい事業でした。

大忘年会・卒業式では、卒業生に良い思い出を持って卒業していただきたく、白鳥の衣装を着てハンドベルで演奏していただきました。快く白鳥の衣装を着ていただきありがとうございました。

いたたさありがとうございました。
1年間、メンバー一丸となって、メンバー同士の深い絆が出来ました。最後まで付いてきていただいた委員会メンバー全員に大変感謝しております。たいへんな1年間でしたが良い経験を与えていたなだと思います。ありがとうございました。



全員交流委員会 委員長 有田 単 公

報告 ● ● ● ● ● ● ● 2006 SLOGAN 『絆』 Kizuna 出会いに感謝

総務委員会



総務委員会は本会議所内の総務的業務の遂行を主とする委員会ではあります。本年度に関しては、まず、組織活性化にもつながる、会員の拡大を行いました。会員の皆様から紹介いただいた方々にお会いし、会議所の活動や組織について、多くをご理解いただける説明ができるようメンバー一同努めました。また、そのことにより、改めて、会議所活動について、考えることができ様に思います。結果としましては23名の有望な新入会員を迎えることができ、大変うれしく思います。

次に、本年度の会議所事業の中でもメンバーが一丸となって取り組んだ飯塚市・嘉麻市のローカルマニフェスト型公開討論会の開催です。当委員会メンバーには、かなりの負担をかけましたが、それを支えてくれた全メンバー、諸先輩の方々、地域住民の方々には、深く感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

総務委員会 委員長 亀田 知佐子

研修委員会

本年度一年を通して、林田理事長のスローガン「絆」出会いに感謝をもとに、まず委員会メンバーとの絆を深めました。そして、LOM内の絆を深めていきました。そうする事によって、例会、総会、各事業への出席率が向上し、成功へつながったのではないかと思います。

内気な私を藤原副委員長はじめ、メンバーの方々がもりたててくれましたおかげで、一年間、研修委員会委員長をやり終えることができました。

委員会メンバー及びメンバーの方々、大変ご迷惑をかけました。

一年間、ありがとうございました。

研修委員会 委員長 中野良一



地域開発委員会



本年度、地域開発委員会の1年間を振り返ると林田丸の掲げる「絆」を旗印に、さまざまな出会いに感謝しながら、文字通り体を張って全力で活動してまいりました。

まず、委員会が発足して最初に取り組んだことが1月のモノ作りによる交流事業です。この事業は、飯塚市の成人式実行委員会に参加しその内で人力車に新成人を乗せて二十歳の思い出を作ってもらおうという企画でした。その人力車も自分たちで廃材を最大限活用して作ろうとメンバーが知恵と技術を出し合って作り上げました。

成人式当日、この人力車をお披露目した時のメンバーの表情でまず一安心し、実際に新成人を乗せ喜ばれた時の感動は今でも忘れません。この事業によって委員会の結束が出来たと思います。3月は飯塚市役所の要請により飯塚の雛の祭り各会場にて人力車の試乗会、また悪天候により中止となりましたが、国土交通省より架け替え工事の進む芳雄橋の渡り納め式での人力車の要請もあり、この飯塚での人力車イコール飯塚青年会議所という方程式の確立に「まち」の活性化につながるいいものを作ったぞという満足感と、この先どうなるのだろうという不安もよぎりました。しかし、やっぱり人に喜ばれるのはうれしいことでこの人力車がある限り「まち」に尽くそうと決意したのもこの頃です。

委員会活動も後半に入ると、世代を越えた交流事業のため機関車ジェイシー制作にまたメンバーの心がひとつになりました。最初は出来ないと思った事もやろうと思えば必ずできる。委員会で作った機関車ジェイシーの顔をシニアの先輩方からも国鉄OB会の方からも公園に遊びに来た家族連れの方からもお褒めの言葉をいただきメンバーから口をついて出るのは大変だったけどやってよかったね。という言葉ばかりです。見に来てくれる人たちに世代を超えてやさしくほほえむ機関車ジェイシーは期間限定ではありますが現在も勝盛公園に展示中です。

年を通じ、モノづくりに始まりモノづくりに終わり、何も作っていないときはブースを出店しているか舟を漕いでいるか歩いているか人力車を引いているのかと本当に体を張った事しかしていませんが、常に「まち」の目線で行動し私たちが今何を求めるか肌で感じながらの1年間はこれからJC活動に必ず役立つと確信しています。

最後になりますが、この若輩者の私に委員長という貴重な経験をさせて頂いた林田理事長はじめ執行部の皆様、委員会の枠を超えて支援してくれたメンバーの皆様、地域開発委員会のメンバーの皆様、一年間本当にありがとうございました。

青少年アカデミー委員会

今年度、会員拡大に力を入れて下さったおかげで、21名もの新入会員をお預かりする事が出来ました。委員長として本当にやりがいのある1年間でした。

~出会いを活かし行動へ~をスローガンに辛い事の中に感動がありそれが価値を創り出して行くといふ事を実践できたのも私を支えてくれた、久保副委員長、委員会メンバーのおかげです。

この1年間で少しでも学んだ事を今後の青年会議所活動で活かし、これから入会する会員を育てていなければと心から願います。そういう出会いや価値観を学ぶ事で、地域貢献につながり地域にとって必要な青年会議所で在り続けなければいけません。メンバーに伝えるべき事が伝わっていない所もたくさんありました。それでもついて来てくれた青少年アカデミーメンバーに本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

青少年アカデミー委員会 委員長 大島 恵次郎



ブロック会員大会誘致特別室

特別室長 田中 堅治



創立より54周年を迎える(社)飯塚青年会議所は、長い歴史と伝統を持ち、今多くの諸先輩方に支えられています。現会員はその志を伝承しようとしています。低迷している経済状況の中、「人材こそ全ての礎」とここ数年來の会員拡大の努力の結果、総会員数100名に近づこうとしている(社)飯塚青年会議所は、今活動に満ち溢れつつあります。反面、入会年数3年未満の会員が多数を占め、様々な経験が不足している感は否めません。次代を担う我々青年はまちに活力を、人に勇気を与え、はつらつとした活動を興し続ける必要があるのです。そこで当ブロック会員大会誘致特別室では、会員一人ひとりがPOWER PEOPLEとなるべく、2008年度第36回福岡ブロック会員大会の主管をし、誘致活動を行います。そうすることで、(社)飯塚青年会議所創立55周年を盛り上げるだけでなく、会員の幹を強め、また福岡ブロック協議会が身近な存在になり、新たな経験や知識を得て、今後の地域での様々な事業や活動に活かされてくるものと思います。市民町民の皆様との関わり、行政との連携など様々な課題がありますが、それを成し遂げることで(社)飯塚青年会議所の存在意義を深め、また活性化にもつなげるために20年ぶりに福岡ブロック会員大会主管立候補をし、この地に誘致活動を大胆に興し、大成功へと導きます。

光輝く未来特別室

委員長 中野 良一



私達(社)飯塚青年会議所は、来年創立55周年を迎えます。一口に55周年と言ってもそこには、地域の方々と、私達の先輩方が築かれてきた礎のもとに成り立っています。私は、今の(社)飯塚青年会議所を一つの木だと考えます。初めは小さい芽だった物も先輩方がJCの三信条の下地域の方々と協力し、まちづくり、ひとづくり運動をされた功績で今の大木があると考えます。私はこの先輩方がこの私達の故郷に植えられた木を枯らすことなく、更なる大木となるべく、成長させていかなければなりません。目まぐるしく変化していく時代の中で、時代の流れに沿いながらも、JCとして地域の方々と共に手をとり、故郷を良くしようとする志をもった多くのPOWER PEOPLEが出来るよう頑張ってまいります。その為には55周年も一つの通過点とし更なる60周年、100周年へと繋げていきます。そして私達は、光り輝く未来の為に新たなる故郷の特性を活かした地域興しの事業を行います。

例会委員会

委員長 國米 征吾



『例会とはJC活動に於ける基本である』この言葉は(社)飯塚青年会議所に入会して、何度も聞いてきた言葉です。そしてそれは会員の半数以上が入会3年未満という、現在の(社)飯塚青年会議所にとって、とても大切な言葉だと私自身実感しています。

そこで本年度の例会委員会では、まずはメンバーがJCを知り興味を持つ事。それにより今後我々が、LOM内外に関らず活発な発言・行動が出来、活気溢れるLOMになる為の例会創りを目指します。更にはJCに留まらず、私たちの住むこのまちを深く理解する事。そして愛すべきこのまちの未来の為に何ができるかを考える事で、メンバーに【気づき】を投げ掛け共に学びます。

また例会は世代・業種・環境の異なる者同士が、一堂に会する大切な機会です。この機会を利用して、有効に活かすために魅力ある企画・運営はもちろん広報も積極的に行い、『例会に来てよかつた』と皆が思える例会創りに、委員会メンバー一丸となって邁進いたします。全ては我々(社)飯塚青年会議所がより深く、志を同じうする【仲間】になる為に…

三大行事委員会

委員長 今井 光



今年、(社)飯塚青年会議所は54周年を迎えます。来年の創立55周年、また2008年度福岡ブロック会員大会開催の成功の為にLOMのさらなる「団結力」が必要になります。LOMのメンバー一人ひとりが輝いてこそ本当の意味でLOMが輝きます。

本年度、当委員会は三大行事(新年会、創立記念、忘年会)を行います。新年会においては、先輩諸氏・地域の皆様・他LOMの数多くの仲間達と交流を深めるとともに、今年1年間の(社)飯塚青年会議所の方向性をアピールする。また、今年第1回目のこの事業を成功しLOM内の団結をはかる。

創立記念においては、シニアとの交流を深め今日までの53年間の先輩方の功績・JC魂を再認識し創立55周年の成功へ向け団結する。忘年会においては、卒業生方のこれまでのJC活動を称え感謝し、またメンバー1年間の協力しあったJC活動を称えあい次年度につながるものとする。

この三大行事を通じて一人ひとりが輝き、さらに飯塚JCが輝くことを目指します。

偶然にもこの時代に生まれ、この日本という国に生まれ、この同じ地に住み(社)飯塚青年会議所に所属し活動するメンバーを「尊敬・信頼」し、共に1年間同じ「風」を感じながら駆けぬけたいと思います。

2007年度 スローガン

夢
浪漫
感動
POWER PEOPLE

雨ニモ風ニモ負ケズ
美しき我が故郷の創造
全ては光り輝く未来の為に



(社)飯塚青年会議所
第54代 理事長

内藤修也

大きい夢をもって
大きい浪漫を語れば
大きい感動へと導いてくれる
大きい夢もなく
大きい浪漫もなければ
真の行動も與せないだろう
POWER PEOPLE 青年は青年らしく
若くはつらつと行動を與し
いつまでもいつまでも住みたくなるまら
遠く故郷を離れてても最後の最後まで
思いが募るまら・・
故郷創造 それが青年の使命です

JCへ感謝
21世紀目前の1999年に(社)飯塚青年会議所へ入会させて頂き、以来私自身7年間JC活動に没頭し続け、多くの人と出会い、多くの事を体感し、多くの事を学び、多くの事に気づかされました。JCは常に平等にチャンスがあり、多くの宝物が転がっています。しかしながら少し無理を憶えないとひとつも拾う事が出来ません。これまで53年間という長い歴史と伝統を築き上げられた先輩諸氏に感謝し、全ては光り輝く未来につながる行動だと信じ、これからもJC活動を邁進し続けます。

POWER PEOPLE
夢や浪漫をもってこそ人である。自ら足を一步前へ出せる人、人の痛みが解かる人、礼節を重んじ、常に足元を照らし積極的に前へ進む人こそPOWER PEOPLEである。
人には無限のPOWERが秘めています。たった一つのきっかけで、誰もがPOWER PEOPLEになります。自らの限界を探さずに無限の可能性にチャレンジしよう。
光り輝く未来には無限の可能性が秘めています、大勢のPOWER PEOPLEが喜らす故郷はどれだけ光り輝いている事でしょう…

光り輝く未来の為に
「嘉飯山はひとつ」をスローガンとし、長年(社)飯塚青年会議所は行動してまいりました。しかしながら昨年の平成の大合併により(福岡市)「嘉麻市」「桂川町」という2市1町の格組となり、新行政区はスタートを切りました。我々Jayceeは、まずはローカルマニフェスト型公開討論会の際頂いた市長による公約の検証作業に取り組みます。それからあらゆる角度から新たな故郷の特性を創造致します。

この先まちは更に大きく変化します、新しい道路一つの流れは変わり、道州制導入時における県央地域のポジショニング等々、無限の可能性に向かって我々Jayceeは常に先頭を走っていくべきです。しかしながら青年が青年らしく若くはつらつと行動を與す「まちづくり」は合併によるものばかりではなく、青年「今」だから出来る発想と行動力で、我が故郷を愛する心と我が故郷に未来を託す心をもって、光り輝く未来を創造していくという強い決意で故郷創造に取組んでいきます。

百年後の未来人
これから百年後の世界を想像した事がありますか。これから十年後、三十年後位までは、生活設計として想像出来るでしょうかが、必ず訪れる百年後に夢と浪漫を抱きたいものです。
百年前1907年の日本は明治40年でした。ヒット商品は龜の子たわしで、フランスではヘリコプターの初試乗が20秒でした。百年後の2107年はどんな世界になっているのでしょうか。
現在日本は、行政・経済・教育・雇用更是に伝統・礼節・コミュニケーション等々、時代の大変革に歯止めがなく、全国では毎日、驚愕するような、又は理解し難い犯罪が頻繁に起きています。我々Jayceeは今を生きる者としての責任と義務をもつて、グローバルな観点から、今一度自分自身を見つめなおし、そして百年後の未来を更に切り開く未来人に「今」を生きるという事を共に語り、共に学び、22世紀の扉を開く未来人創造に取組んでいきます。

美しき故郷
幼少より故郷には瀬波川があり、竜王山があり、ボタ山があります。変わったのはボタ山が線になった事で、今も昔も故郷の景色はさほど変わりません。生活の基盤である故郷には住み心地の良さを感じながら故郷を愛する心があります。しかしながらこの大変革のとき、未来に全てを託す事に不安を憶えます。眞の活気溢れるまち、笑顔溢れるまち、元気溢れるまち、人と人とが行き交うまち、そんな「美しき故郷」は今この時私たちの胸の中にあるはずです。県央地域のインフラ整備、学園都市、IT特区、新幹線筑豊駅開設目標等々を視野にいれ、いつまでもいつまでも住みたくなるまち、最後の最後まで思いが募るまち、故郷未来図を故郷の方々と共に描くのが我々の使命だと考えます。

例え数千人の山奥でも活気に充ち溢れるまちもあれば、百万都市で活気に充ち溢れるまちもあります。Jayceeは市民・町民の意識改革運動(市民・町民によるまちづくりリムーブメント)の担い手となりうる存在だと強く意識します。自らの未来は自らの手で切り開こう。

JC活動の源
青年会議所は20歳から40歳までという期限付の青年団体です。活動は全てまちづくりに繋がると信じ行動を興します。そのまちづくりは故郷を愛する心と未来を託す心があればいつまでも続くものです。その為にも40歳までという期限付のなかで志を同じうする仲間をより多く集め必要があります。「まちづくりは、ひとづくり」とは同時進行であると考え、青年会議所の未来永劫不变のテーマであります。様々な角度から、より多くの考え方を引出しあらゆる可能性にチャレンジしていく、そしてその意義や過程、効果をよりスピーディに発信する事が現代社会では必要不可欠であります。その為にもまずは「JCだから、JCにしか」出来ない事を「普段より少し無理をして修練・奉仕を図り、友情を育み、眞の会員相互の交流に繋げ広い視野を持たなければなりません。40歳までの期限付の団体であります。全力疾走して最後に「JCに入って良かった」と言えるように…

創立55周年・福岡ブロック会員大会誘致に向け

今年で(社)飯塚青年会議所は創立54周年を迎えます。更なる60周年に向け来年55周年は大事な礎となる年としなければなりません。現在若いメンバーが多数を占めている(社)飯塚青年会議所は、これまでの歴史を築き上げられた先輩諸氏、地域の皆様、他地域の数多くの仲間に感謝し改めて(社)飯塚青年会議所の一員であるという自觉と責任をもって行動を興す必要があります。また今現在、光り輝く未来を創造していく、次代を担う青年が多数を占めています。そしてJayceeが若くはつらつと行動を興す、それだけでまちに活力を人に勇気を与える事が出来ます。その為にもより多くの宝物が転がっている2008年度福岡ブロック会員大会誘致活動を大胆に興し、大成功へと導きます。

夢 浪漫 感動
手と伸ばせば届く事は夢ではなく
簡単に出来る事は浪漫ではない
自らに線を引かずに、突っ走ってみよう
そして、あなたの本身が感動と与えてみよう
全ては光り輝く未来の為に…

Jayceeづくり委員会

委員長 古田 明裕



はやいもので21世紀になって数年が経ち、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、生活は大変便利になり経済的に豊かになりました。しかし、私達の目に飛び込んでくるニュースは目を覆いたくなるような残酷な事件が多く、人として必要な心の豊かさがなくなりつつあるように思います。こんな世の中だからこそ、未来に向かって夢と浪漫を持ち努力する事が必要ではないでしょうか?

そこで、当委員会では、飯塚市民祭である山笠を通じて、地域社会の方々と協力し一つの事業を作り上げるため切磋琢磨することにより、夢や浪漫を持てる「POWER PEOPLE」を育てるること目標とします。

また、私達の委員会は新入会員が初めて属する委員会です。JCって何だろう?どんな事をするんだろう?入会した頃は私達もこんな思いを少なからず持っていたのではないでありますか?明確な答えをだせる問い合わせではないと思いますが、当委員会ではまずは、率先して色々なJC活動に参加する事、そしてメンバーは勿論の事たくさんの方々と出会い行動する事で、自分なりの答えを出すものと考えています。その為に新入会員の方には現メンバーと協力し、自ら積極的に行動して事業を行うことで、自分なりのJCの礎を築いてもらえると同時に、未来へむかって行動できる「POWER PEOPLE」になってもらえると確信いたします。

夢浪漫故郷づくり委員会

委員長 谷口 正知



今、日本は変革の時を迎えてます。昨年の平成の大合併に伴い私たちの故郷も例にもれず、二市八町から二市一町へと枠組みが変わりました。私達は豊かで何不自由ない生活を過ごしています。しかし、そこで暮らしている人々の心まで本当に豊かになっているでしょうか。故郷に対して夢や浪漫を持てず、故郷に対する想いが希薄になりつつあるのではないかでしょうか。理想的の故郷実現には、住民一人ひとりが他人まかせではなく「自分たちのまちは自分たちで創る」という意識を持たなければならないと思います。その為に自分たちがまちを創っているということを実感できるように、身近なことから取組み私達の意識を高めると共に住民自身の意識を高めています。

住民自身が今後の故郷を創っていく為に、この地域の住民全てが思い描く故郷未来図とは何かを地域の方々と共に考え、まずは近い将来を見据え、それから次世代に繋げていけるような夢浪漫あふれる新たな故郷へとなる為の事業を行ってまいります。この事業をすることで今後の方向性、発展の可能性を引き出し、私たちの故郷のさらなる可能性を拓げていけると確信します。また、昨年度(社)飯塚青年会議所は地域リーダーを選出する市長選に合わせ、候補者の政策を重視し投票する市民に新たな判断基準を提供するべく、ローカルマニフェスト型公開討論会を開催し、この討論会により行政が身近に感じれるようになりました。本年度私たちはこの事業を一時的なもので終わらせることなく、マニフェスト推進を前提にした公約の検証作業に取り組みます。

未来人創造委員会

委員長 久保 順貴



目まぐるしく変化する現在、青少年達が素直に夢や浪漫を持つことができる時代といえるでしょうか。不登校、いじめ、ニートの増加など、私たちの目や耳に飛び込めるのは、夢のないニュースばかりです。このままでは、次代を担うべき青少年達の未来は、想像を絶する夢のない未来になってしまうのではないかと懸念します。

しかし、私たち大人自身、夢や浪漫を叶えるために努力する姿を見せず、最初から諦めてしまっているという状況が少なからずあるのではないかと心配します。それでは、子ども達に夢や浪漫を持って欲しいなどと言えるはずもありません。

そこで、私たち未来人創造委員会では、この状況を少しでも良くする為、今、未来を切り開く若者たちに、必要なのは、夢や浪漫を叶える為に、何ごとも諦めず、投げ出さない、自分自身に打ち勝つ強い心POWER(パワー)を持つ事だと考え、POWER YOUTH(パワー・ユース)「力ある青少年」を合言葉に、共に行動し、共に感動できる活動を通じ、22世紀の扉を開き、次世代にも通じる未来人創造に取り組んで行きたいと思います。

総務情報発信委員会

委員長 小山 寛



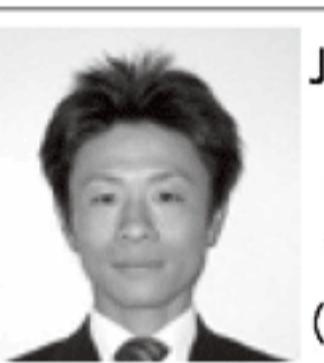
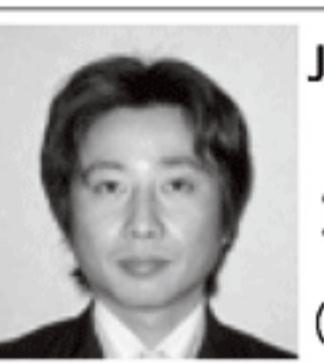
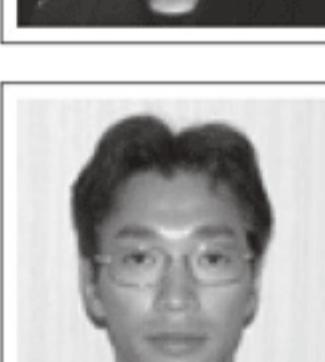
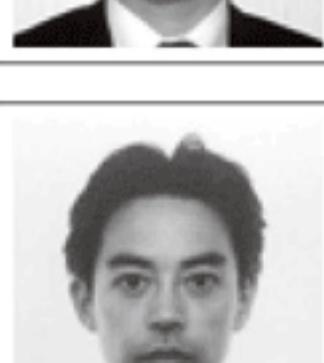
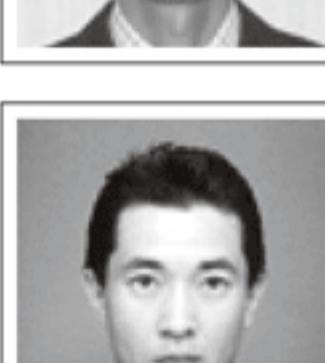
私たち社団法人飯塚青年会議所は、53年間もの長きに渡りまちづくりに取り組んできました。

その間、途切れることなく人と人が繋がり現在のまちがあります。百年後も今と同じ様に、夢・浪漫を語り、感動を共有できる仲間を繋げていく責任が、今を生きる私たちにはあります。

そこで、引き続き本年度もさらなる会員拡大に取り組み、新たなPOWERの加わった会議所活動内容をメールマガジンにて発信し、その他の情報もホームページにて掲載します。また、総会の運営・管理はもとより総務関係諸業務においても、正確かつ確実に実施し、時代の変化に沿った考えのもと定款並びに諸規定の研究及び見直しを図ります。

JCI 2007年度会員紹介

 <p>理事長 内藤修也 (株)内藤園</p>	 <p>直前理事長 林田 賢一 林田コンクリート工業(株)</p>	 <p>副理事長 久保井英樹 (株)クボイ</p>	 <p>副理事長 清水 大輔 (有)カーポーテー飯塚</p>
 <p>副理事長 西野幸彦 西野土地家屋調査士事務所</p>	 <p>副理事長 福永 隆一 (有)花のフクナガ</p>	 <p>専務理事 野上 英敏 (株)のがみ</p>	 <p>常任理事 多田 勉 (株)多田組</p>
 <p>常任補佐 溝口 栄仙 一本松保育園</p>	 <p>事務局長 榎木 雅人 (株)サンテック</p>	 <p>監事 赤間 秀樹 赤間登記測量事務所</p>	 <p>監事 西田 陽 (株)西田建設</p>
 <p>監事 室井 秀行 (有)室井自動車工業</p>	 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 室長 田中 堅治 (株)福岡シービー</p>	 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 副室長 江藤 晃輔 (株)エトウ時計店</p>	 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 有田 栄公 有田電気情報システム(株)</p>
 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 金内 豊 Choco Chip</p>	 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 湊谷 一弥 (有)酒のみなとや</p>	 <p>ブロック会員大会 誘致特別室 山室 透 親和塗料</p>	 <p>光り輝く未来特別室 室長 大里 至 大里酒造(株)</p>
 <p>光り輝く未来特別室 委員長 中野 良一 正和建設(有)</p>	 <p>光り輝く未来特別室 副委員長 藤木 秀憲 フジキ印刷(株)</p>	 <p>光り輝く未来特別室 桑野 慎吾 (有)桑野電気工事</p>	 <p>光り輝く未来特別室 椿 重之 (株)中本不動産</p>
 <p>光り輝く未来特別室 野中 重司 光代自動車整備工場</p>	 <p>光り輝く未来特別室 福澤 文聰 銀翼タクシー(株)</p>	 <p>光り輝く未来特別室 森 浩昭 (株)玉置</p>	 <p>光り輝く未来特別室 矢野 公仁尚 央几石油</p>
 <p>光り輝く未来特別室 山本 敬介 やまもと寿司</p>	 <p>例会委員会 委員長 國米 征吾 (有)インテリアコクマイ</p>	 <p>例会委員会 副委員長 犬丸 正嗣 犬丸損害保険事務所</p>	 <p>例会委員会 白石 義忠 (有)白石石油店</p>
 <p>例会委員会 中島秀幸 飯塚信用金庫</p>	 <p>例会委員会 長岡 敦史 (株)ジェイ・イー</p>	 <p>例会委員会 長野 剛士 三秀舗道(株)</p>	 <p>例会委員会 畠中 規一 (有)荒木食品産業</p>
 <p>例会委員会 丸目 雅宏 (有)Q'zダイニング</p>	 <p>例会委員会 美林 直樹 居酒屋でぶしう</p>	 <p>三大行事委員会 委員長 今井 光 ハート歯科クリニックまい</p>	 <p>三大行事委員会 副委員長 下川 哲也 (有)ぱっぷDining</p>

 <p>三大行事委員会 岩本達也 (株)イワキン工業</p>	 <p>三大行事委員会 太田常晴 おおた歯科・小児歯科</p>	 <p>三大行事委員会 岡村英生 (株)新興産業</p>	 <p>三大行事委員会 嶋田透 麻生芳雄商事(株)</p>
 <p>三大行事委員会 高崎英徳 (有)高崎クレーン</p>	 <p>三大行事委員会 玉村浩一 (有)コムレイド</p>	 <p>三大行事委員会 原田竜介 (株)サンレー飯塚松柏園ホテル</p>	 <p>三大行事委員会 米丸勝利 関西ブレーキ工業</p>
 <p>Jayceeづくり委員会 委員長 古田明裕 (有)筑豊美装</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 副委員長 片平秀一 (株)三豊</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 浅田靖則 社会福祉法人 親孝会 太陽の郷</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 亀田知佐子 亀田屋クリーニング店</p>
 <p>Jayceeづくり委員会 薦田豊彦 協和内装(株)</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 清水幸浩 (株)瑞建工務店</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 藤原昌直 (有)嘉穂園芸</p>	 <p>Jayceeづくり委員会 堀池豊 (株)麻生情報システム</p>
 <p>Jayceeづくり委員会 松本勝也 (有)松本食品</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 委員長 谷口正知 (株)チクホーシーリング</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 副委員長 野上早規 野上商会</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 伊藤芳邦 (有)ビーツー伊藤車輛</p>
 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 大島憲次郎 (株)秋元商会</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 下野雅芳 (株)キューブス</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 堤秀光 (有)堤車輌整備工場</p>	 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 戸田徹 カーコンビニ俱楽部 ゾロ川津店</p>
 <p>夢浪漫故郷づくり委員会 日高秀夫 衆議院議員麻生太郎事務所</p>	 <p>未来人創造委員会 委員長 久保頼貴 久保自動車(有)</p>	 <p>未来人創造委員会 副委員長 國武裕仁 ネットム</p>	 <p>未来人創造委員会 岸田貴靖 三協技建(株)</p>
 <p>未来人創造委員会 小原英範 (有)フジヤマ</p>	 <p>未来人創造委員会 坂平順子 新進工業(有)</p>	 <p>未来人創造委員会 武内喜子 Funky Phantom</p>	 <p>未来人創造委員会 西竜太郎 (株)西組</p>
 <p>未来人創造委員会 深田陵市 (有)南星観光貸切バス</p>	 <p>未来人創造委員会 吉岡慎太郎 (有)吉岡スタジオ</p>	 <p>未来人創造委員会 渡邊武 (株)筑豊第一木材市場</p>	 <p>総務情報発信委員会 委員長 小山寛 (株)小山産業</p>
 <p>総務情報発信委員会 副委員長 佐々木英 佐々木英司法書士事務所</p>	 <p>総務情報発信委員会 有馬武文 (有)有馬クレーン</p>	 <p>総務情報発信委員会 石原孝司 明成工業(有)</p>	 <p>総務情報発信委員会 江口美穂 (株)アステックインターナショナル</p>
 <p>総務情報発信委員会 曾根秀之 (株)曾根設計事務所</p>	 <p>総務情報発信委員会 松岡聰 (株)麻生 飯塚病院</p>	 <p>総務情報発信委員会 宗高元彦 SAMURAIホールディングス(株)</p>	 <p>IIZUKA Junior Chamber MEMBER</p>

社団法人飯塚青年会議所

**青年会議所は20歳から
40歳までの情熱ある
青年の団体です。**

青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの、指導者たるとしての青年の団体です。私たちは現在、国内750余りの都市に6万人余りの会員を、全世界114カ国地域に22万人余りの会員を擁しています。青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

会員募集

新入会員より一言



2006年度新入会員
犬丸正嗣
犬丸損害保険事務所

学校を卒業し、社会に出て自立し、自分の事だけで精一杯。そんな自分に、先輩から「JCはいってみらんね?」と、言われた。僕もいい歳になり、いまさら…照れくさいと思ったが入会。
一言『たまがつた!』
そう、気づかされ、自分が「井の中の蛙」であった。
社会に出てから、感動することが少ない。
しかし、「JC」には、熱くなれる何かがある。
その何かは、メンバーと共に時間を共有し、活動の中に潜む。
客観的に見ていたJCを、活動を通じ、先入観が吹き飛ぶ瞬間である。
自分の目で、耳で、肌に感じ、考え、答えをだす。
その答えは、自分への生き様のスパイスとなっている。



新春祝賀会

地域開発委員会

- 委員長／久保井英樹 ■ 副委員長／西竜太郎
- 委員／安部幸剛・石原孝司・太田常晴・下野雅芳・野上早規・船越知樹 ■ 事業室室長／西田 陽

**(社)飯塚青年会議所は、
あなたの力を求めています！**

私は、青年会議所について聞かれた時「青年会議所はまちづくりとひとづくりを行う団体です」と答えています。このような答えに「公園を掃除したり、ベンチを置いているのですか?」と思われることが多いようです。青年会議所はこのように考えています。家庭・学校・企業等、これらは全て「ひと」によって成長して行きます。そして、私達の生活している「まち」も「ひと」によって構成されています。青年会議所は40才までの団体であり、そのわずかな時間の中で「まちづくり」を行うことは大変難しいことです。しかし、いろんな事を経験し、体験することで「私」という「ひとづくり」を行い、「豊かな考え方」のできる「ひと」に成長すれば、それが「豊かなまちづくり」につながるのであります。青年会議所の活動は「もの」をつくる町づくりではなく、「ひと」をつくる町づくりです。青年会議所とは40才までにやり遂げる団体ではなく、入口なのです。

●対象者● 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務先を有する20才から37才の健全な方であれば男女を問いません。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



創立記念



忘年会